

新型コロナウイルス拡大防止に伴う自粛要請等に関するアンケート結果

さざんかこども園

標記のアンケートにご協力いただきありがとうございました。保護者の皆さまから頂戴したご意見を今後の緊急時における対応等に活かしてまいります。また、いただいた多くの温かなお言葉は大変嬉しく、全職員の励みとなっております。

アンケートの集計結果といただいたご意見について報告いたします。

<集計結果> 提出枚数47枚（配布枚数70枚中）

1 子どもの年齢を記入してください

・0歳児 2名 ・1歳児 7名 ・2歳児 10名 ・3歳児 10名
・4歳児 7名 ・5歳児 16名

（※兄弟のため1枚に複数回答、年齢未記入あり）

2 緊急事態宣言の発令や外出自粛などにより、子育てや生活で困ったことはありましたか？

・ある 30 ・ない 16 （※ご意見については下記参照）

3 緊急事態宣言により子どもの生活に変化は見られましたか？親から見て気になることはありましたか？

・ある 25 ・ない 21 （※ご意見については下記参照）

4 新型コロナウイルスへの対応等で家庭内の状況で困っていることがありますか？

・ある 8 ・ない 38 （※ご意見については下記参照）

5 新型コロナウイルスの対応等で保育園への要望があれば自由に記入してください。

（※下記参照）

6 育児相談を希望されますか？希望される場合は希望日時をご記入ください。

・希望しない 43 ・希望する 3

2. 緊急事態宣言の発令や外出自粛などにより、子育てや生活で困ったことはありましたか？

ある

- ・ 学校や園が休みになっても仕事はあるのに、祖父母に預けられ辛くなった。(持病があるため)
- ・ 品物が少なく、買いたいものが買えない。
- ・ グズグズしているときにどこにも連れて行けず、気分転換できなかった。(0歳)
- ・ 仕事柄休みをとれず、小学校、園に通い続けるしかなかった。(1歳)
- ・ 公園などに遊びに行けなかったので、体力が余っている感じ。(2歳)
- ・ 公園にも行けずほとんどを家の中で過ごしていたので、思いきり遊ばせることができる場所が欲しかった。(2歳)
- ・ 子育て支援ひろば等も閉鎖され、雨の日に家で1時間も遊ぶと子ども自身もストレスを感じているようだった。晴れの日には近所を散歩するだけで充分楽しめていた。(2歳)
- ・ 外出自粛でどこにも行けず自宅で遊んでいたが、段々と子どもも飽きて靴を持ってくるので公園に行くが、小学校高学年から中学生くらいの子が遊具を使って鬼ごっこをしたり、ドッチボールをしたりしていて、子どもは怖さを感じて動けなくなるようなことがあり、どこへ行けばいいのか悩んだ。(2歳)
- ・ 外出できないなどの制限や衛生面で今まで以上に気をつかうことへの不安やストレス。(3歳)
- ・ なぜ外へ行けないのか、外出できないのかが子どもが理解できず、玄関で泣かれることが辛かった。(3歳)
- ・ 子どもが行きたい場所に行けない。(3歳)
- ・ 在宅勤務で登園しない日は、子どもへの対応が難しかった。「今は仕事だ」とすんなり受け入れてくれる時もあればそうでない時もあり、子どもはストレスがたまっていたと思う。年齢的なものもあるのか攻撃的になっていた。(3歳)
- ・ 外出することができず、親子共に気分転換できず限界を感じた。(3歳)
- ・ 遊びに行く場所が限られる。特に雨の日に遊べる場所がない。(3歳)
- ・ 親(祖父母)が近くにいないので、どうしても子連れで買い物に行かなければならず周囲の目が気になった。
- ・ 遊びがマンネリ化し、煮詰まる。(3歳)
- ・ 気持ちをリフレッシュする場がない。(3歳、0歳)
- ・ 在宅勤務しながら遊びの相手をする。今まで経験がないので色々と我慢させていたと思う。(4歳)
- ・ 外に出られないストレスを感じた。(4歳、1歳)

- ・ 家の中での遊びが限られ、Y o u T u b e ばかり見ていた。(4歳、1歳)
- ・ 子どもに、「一緒に買い物に行きたい」と泣かれることがあった。(4歳)
- ・ 仕事上テレワークできず、登園自粛ができなかったこと。(4歳)
- ・ 緊急事態宣言期間中、祖父母の協力を得て何とか乗り切ったが、第二波が来ることを考えると今から不安。
- ・ できるだけ週末に子どもを預けてまとめ買いをしているが、子連れの買い物はとても気を遣う。(5歳)
- ・ 公園の遊具使用禁止や図書館の閉鎖など、子どもが少しでも楽しめる場がないことが一番大変。(5歳)
- ・ 呼吸器症状で登園を自粛する状況だったので、職場の理解や祖父母の協力が必須で何かと心配事が増えた。
- ・ 生活リズムが乱れた。(5歳)
- ・ バランスの良い昼食まで行き届かず、給食のありがたさを改めて感じた。
- ・ 休みの日など家にいるとゴロゴロして寝てしまうことも多く、このままでいいのか心配(1歳)
- ・ 広い場所で思う存分動けるようにしてあげられない。緊急事態宣言解除後も、少し出掛けるだけで周囲にどう思われるのかと気になってしまう。(1歳)
- ・ 自粛期間の初めの頃は「お外行きたい」と元気だったが、次第に「家にいる」と元気がなくなった感じがした。
- ・ 多少はストレスでイライラして叱ったこともあった。(3歳)
- ・ 園や学校から変更があるたびにプリントやメールをもらい、一時期毎日のように入っていて、仕事が休めず登園、登校させることに何となく後ろめたい気分になったりすることがあった。

3. 緊急事態宣言により子どもの生活に変化は見られましたか？親から見て気になることはありましたか？

ある

- ・ 行きたい所が休業していたり、封鎖していたりして、イライラしていることがよくあった。(3歳)
- ・ 外出できず、外で思いきり体を動かさず、いつもより兄弟げんかが多くなってストレスがある様にした。
- ・ 不規則な生活リズムになった。
- ・ ゴロゴロしてばかり。
- ・ お菓子ばかり欲しがる。
- ・ YouTubeを解禁してしまい、慣れてしまった。(1歳)
- ・ 家の中にいることが多くストレスが溜まっていたのかお昼寝をすごく嫌がり泣くことが多かった。(2歳)
- ・ イライラしていた。(2歳)
- ・ 親の勤務シフトにより、子どもを早めにお迎えしたり、家庭保育をしていた。親としてはいつもより時間に余裕がもてたが、子どもの生活リズムが乱れ、寝るのが遅くなった。
- ・ テレビを見たがるが増えた。(3歳)
- ・ 友だちと会えなくて寂しそうだった。登園したくないという気持ちにはならなかった。(3歳、1歳)
- ・ 夜寝るのが遅くなったり、テレビを見る時間が長くなってしまった。(3歳)
- ・ 食事の内容が偏ってしまい、野菜不足など栄養面が心配だった。(3歳)
- ・ 怒りやすくなった。(3歳)
- ・ 生活のメリハリがなくなる。(3歳)
- ・ 下の子が、悪気なく上の子の遊びを邪魔してしまい、上の子のストレスがたまる。(3歳、0歳)
- ・ テレビ、ゲーム等の時間が急増した。(4歳)
- ・ 兄弟げんかが増えた。(4歳)
- ・ 「みんな忘れてないかな」と、友だちを気にしていた。(4歳)
- ・ 外で体を動かさないことと、大人との関わりだけになり明らかに行儀していた。(4歳)
- ・ 今までの休日はどこかへ出かけることが多かったが、家でおやつを作ったり、ベランダでごはんを食べたり家で楽しめる新しい過ごし方を見出せたと思う。(4歳、1歳)
- ・ 公園が閉鎖されたり、運動する機会が減ってストレスが溜まっているのかなと感じた。(4歳)
- ・ 生活の中でのオンとオフ、元の生活に戻る際の子どもの体力、精神状態の切り替えが難

しく感じた。(5歳、3歳)

- ・ テレビのニュースがコロナのことばかりで「テレビ消して!」と怒る。(5歳)
- ・ プールや図書館、花火などできないことが増え「コロナのせいでしょ」と言いながらも納得できないイライラが見られる。(5歳)
- ・ 家の中で過ごす時間が増え、体力の低下が少し心配だった。(5歳、2歳)
- ・ どころなく快活さが失われていたように見え、子ども同士で過ごす時間の大切さに改めて気づかされた。(5歳)
- ・ 生活リズムが乱れた。(5歳)
- ・ ゲームやY o u T u b eの時間が多くなった。(5歳)
- ・ 「コロナだから」とマスクをつけるようになった。(3歳)
- ・ 体を動かさないから運動不足が心配だった。
- ・ 公園にも行けず、買い物も急いで済ませるという感じだったので、子どもたちはつまらなかつただろうと思う。

4. 新型コロナウイルスへの対応等で家庭内の状況で困っていることはありますか？

ある

- ・ 両親ともに仕事がテレワークできず、休みも取れなかった。(1歳)
- ・ 出掛けられない。(2歳)
- ・ 体力が有り余ってしまい、外出自粛ができない。(3歳)
- ・ 小さい子の消毒等が十分しきれていない。(3歳、0歳)
- ・ 自分がもし感染したら、子どもを見てくれる人がいない。
- ・ 1歳半健診が中止になり、発達の重要なポイントとなる機会が無くなっていることに不安を感じる。
- ・ 家で過ごしていると生活リズムが崩れ、体力も落ち、通常のペースに戻すのが大変。
(3歳)
- ・ 職場を休むことで迷惑をかけたと思い、ストレスを感じていた。

ない

- ・ 特にはないが、祖父母になかなか会えない。(3歳、1歳)
- ・ 都心のように休園にならなかったもので、特に困らなかった。
- ・ こども園は特に困ったことはなかったが、小学校の休校が続き、小学生の子どものことで心配な点はいくつかあった。

5. 新型コロナウイルスの対応等でこども園への要望があれば自由に記入してください。

- ・ 都心などで休園しているところがある中、開いてくれていたので助かった。
- ・ 大人だけでなく、くまきちもマスクをしていたり、たまねぎひろばに張り紙をしたり、子どもでも目で見分けるように伝えていただいて子どもも「いつもと違う」と分かりやすかったです。
- ・ 登園自粛中に園からお手紙を送ってもらって嬉しかった。
- ・ 園で過ごしている子に比べ、自粛している子は園で学べる時間が少なくなったのが残念。
- ・ 危険を背負いながらも保育を継続してくれてありがとうございます。
- ・ 宣言期間中の緊張感のある中、園を継続して開園して毎日出勤してくれた先生方に感謝しています。
- ・ 引き続き、よろしくお願いします。
- ・ なし。十分対応してくれていると思う。
- ・ 自粛中も、色々対応していただきありがとうございます。
- ・ 大変な状況の中、保育を続けていただきありがとうございます。大きな困りごとなく過ごすことができたのは、園に通うことができていたことが大きいと思います。
- ・ 第2波の不安もある中「子どもを守ること」が第一優先であることを常に家庭内で話し合っている。園にはこのような状況の中、保育を継続してくれていることに感謝している。
- ・ 行政の対応が変わるごとに園の対応も変更になり大変だったと思う。そんな中でもいつもと変わらない温かい保育をありがとうございました。第2波、第3波が心配され、またいつ登園自粛になるのかと不安は尽きませんが、その場合も両親ともに仕事のためお世話になると思います。これからもどうぞよろしくお願いします。
- ・ 給食費の返金はありがたかった。(幼児)
- ・ 都合がつく限り登園自粛したが、園が休園せず続けてくれたので、どうしても都合がつかないときは預けられる安心感があった。自粛中の手紙も嬉しかった。

(※ 以下のご意見に対する園からの回答を青字で表記しています)

- ・ ずっと登園できないと親子共々ストレスが溜まる。自分からは助けを求め辛いので可能なら週1でも登園を勧めてほしかった。
→登園自粛にご協力いただきありがとうございます。子どもの安全確保の観点からの自粛依頼であることや、継続して開園し可能な限り必要な保育を提供し続けるこども園の役割を鑑み、自粛中のご家庭に園から登園を勧めることは難しい状況にありました。しかし就労が理由でなくとも保育をご利用いただくことはできますので、今後もそのような際にはご相談ください。

- ・ 第2波が起こった際には、幼児の入室を窓側からにして保護者になるべく他の子どもと接触しないようにしたい。
→今回の緊急事態宣言中の経験や各省庁から発出されているマニュアル等の内容を踏まえ、第2波への対策を含めた今後の具体的な対応について検討しています。
- ・ 送迎時、マスクをしていない保護者をたまに見かける。マスク着用を徹底してほしい。
→保護者の方へのお知らせやお願いを含めた今後の感染対策についてのおたよりを別途配布いたしました。
- ・ 市からのメール転送だけでなく、園の対応の方針を送ってほしかった。
→緊急事態宣言解除後の浜松市からの「登園自粛等の期間延長」の通知については、市から保護者への通知日の指定があったため急ぎ一斉メール送信にて対応いたしました。登園自粛等に係る園の対応については事前におたよりを配布させていただきましたが、緊急事態宣言中は行政の指示を待ってからの対応にならざるを得ない状況が多く、ご心配をおかけした面があったかと思えます。自粛期間が長くなるご家庭が不安を感じられることがないように、今回のご意見を今後の対応に活かしてまいります。
- ・ 登降園時に手指の消毒ができるのはとても良いので継続してほしい。
→保護者や来園者の園内に入る前の手指消毒については継続していきたいと思えます。今回、全国的に消毒液の確保が難しい状況が発生しました。今後も必要な在庫の確保に努めてまいります。
- ・ 登園しない日の給食費はどうなるのか。返金はあるのか。
→登園自粛にご協力いただきありがとうございます。3歳以上児（幼児クラス）の登園自粛等の臨時対応期間中の副食費の返還については別途お知らせいたしました。